

雨ニモマケズ風ニモマケナイように 風水害に備えよう

台風や大雨が発生する季節になってきました。短時間に降る局地的な大雨には、河川の氾濫による水害や土砂災害の危険性があります。大切な生命を災害から守るために、日頃から備え、災害時の適切な避難行動につなげましょう。

☎危機管理課 ☎ 0538-37-2114 FAX 0538-32-0177

○「避難情報」を正しく認識しましょう

市から発表される避難情報を正しく認識し、適切な避難行動をとるようにしましょう。



○「避難行動」を正しくとりましょう

1.安全なうちに早めに行動しよう

土砂崩れや浸水してからの避難は危険です。早めの避難を心掛けましょう。

2.危険な場所に近づかないようにしましょう

河川や崖の近く、鉄道や道路下をくぐるアンダーパスなどは危険です。近づかず安全な道を選んで避難しましょう。

3.複数人で避難しよう

1人で避難すると危険です。近所の方に声を掛けて複数人で避難しましょう。

○ 災害に備え「情報収集」しましょう

災害の発生に備えて各自で情報収集することが、適切な避難行動をとるための第一歩です。以下の方法などで情報を把握し、避難行動に備えてください。

1. いわたホットライン

市HP

いわたホットライン

検索

同報無線の放送内容や防災情報などをメールで配信します。
登録方法など詳しくは、市ホームページをご確認ください。
現在、約 22,000 人が登録しています。



登録用
二次元
バーコード

2. 市ホームページの防災リンク集

市HP

防災リンク集

検索

市内の河川情報や雨量情報、県や国のホームページのリンク集です。

3. テレビのデータ放送

リモコンの d ボタンを押すと、防災情報などを見ることができます。



リモコンの
d ボタン

- interview -

いつ起こるか分からない災害に対しては、常日頃からの備えが重要になります。家庭だけでなく地域や組織で防災に取り組む人たちにお話を伺いました。

地域 で防災

地域に特化した防災を 豊岡東地区

土

砂災害避難訓練を豊岡東地区で実施した
いと市から話をいただき、昨年の6月に
土砂災害のリスクの高い地域に特化した訓練
を実施しました。訓練前には、地区独自のマッ
プを作成し自治会ごとに説明会を行いました。
世帯情報や避難先、連絡先の情報共有や避難
ルートの図上確認などを実施しました。

説明会も訓練も参加率は、ほぼ100%で、
世帯でも地域でも防災意識がより強まったよ
うに感じます。訓練では、いわたホットライン
で情報を確認した人があまり多くありません
でした。土砂災害は台風や大雨などと同時に起
こることが多く、どのように避難情報を収集す
るかが重要だと考えています。

地域として防災が継続できる体制が必要
なため、長期計画を立てて、毎年改善を加えな
がら今後も訓練を実施していきたいです。



前大平南自治会長
みちまさ
鈴木 通正さん

施設 で防災

利用者を洪水から守る 聖隷ぴゅあセンター警田

昨

年6月に水防法が改正され、河川の浸水
想定区域内に位置する防災時に配慮が必
要な方が利用する施設は、避難確保計画の作成
や避難訓練の実施が義務化されました。

当施設は、発達支援センターに通所するお子
さんや就労支援で働く利用者がいます。施設が
浸水想定区域内に立地しているため、避難確保
計画を作成しました。

今年は計画を基にした避難訓練を初めて実
施しました。川が氾濫し、道が浸水している想
定のため、指定避難場所までの道のり約1キ
ロメートルの間に障害物はないか、歩いて問題ない経路な
のかを確認することを重視しました。

現在の課題は避難のタイミングです。避難
した方が良いのか、かえって危ないのか、ウェ
ブサイトで雨量や河川水位などを見て、状況に
よって適切な判断ができるようにしたいです。



センター長
井上 佳子さん